



eggs

GW 7つの卵
追加型投信／内外／資産複合

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は



三井住友信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人金融先物取引業協会



日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

株式のパワーをしっかりと活用。 いわば“前向きバランス”。

この10年の
年率リターンをみると、
7%を超えているん
ですね。



●直近10年間のリスク／リターン
(2015年1月末～2025年1月末)

直近10年間のリターン

GW 7つの卵

基準価額(税引前分配金再投資ベース)

約 **7.43%** (年率)

日本株式(ご参考)

TOPIX(配当込み)

※当ファンドのベンチマークや参考指数ではありません。

約 **10.14%** (年率)

※上表および右グラフのデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

●基準価額の推移と分配実績
(2003年2月28日(設定日)～2025年1月31日)

**21年超のトラック
株式のパワー**

(円)

45,000

40,000

35,000

30,000

25,000

20,000

15,000

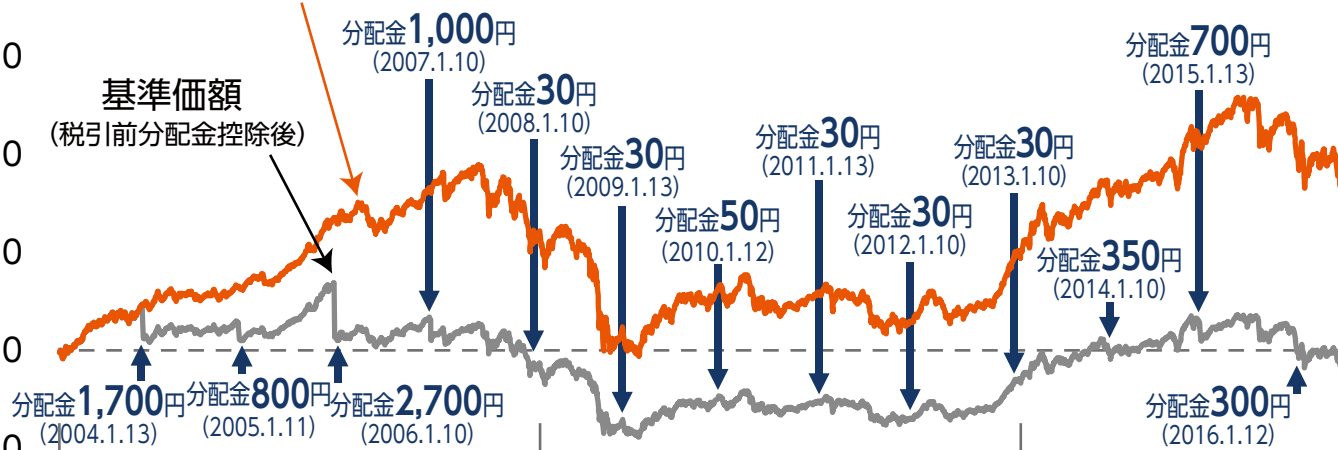
10,000

5,000

※グラフ上の分配金表示箇所の括弧内は決算日

基準価額(税引前分配金再投資ベース)

基準価額
(税引前分配金控除後)



設定日

08年2月末

13年2月末

- 基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。また、分配金額は税引前の1万口当たりの値です。
- 分配金額は、毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を

※上記のグラフおよびデータは過去のものであり、
【本資料の「お申込みに際しての

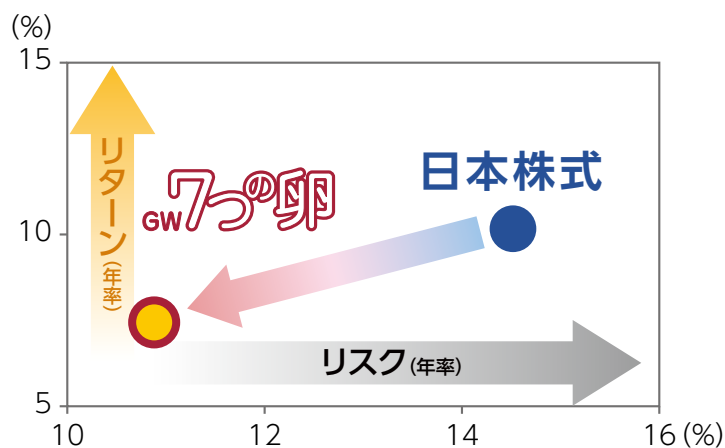


そして上昇分は
しっかり分配。

株式比率が
高いからこそ
できること!

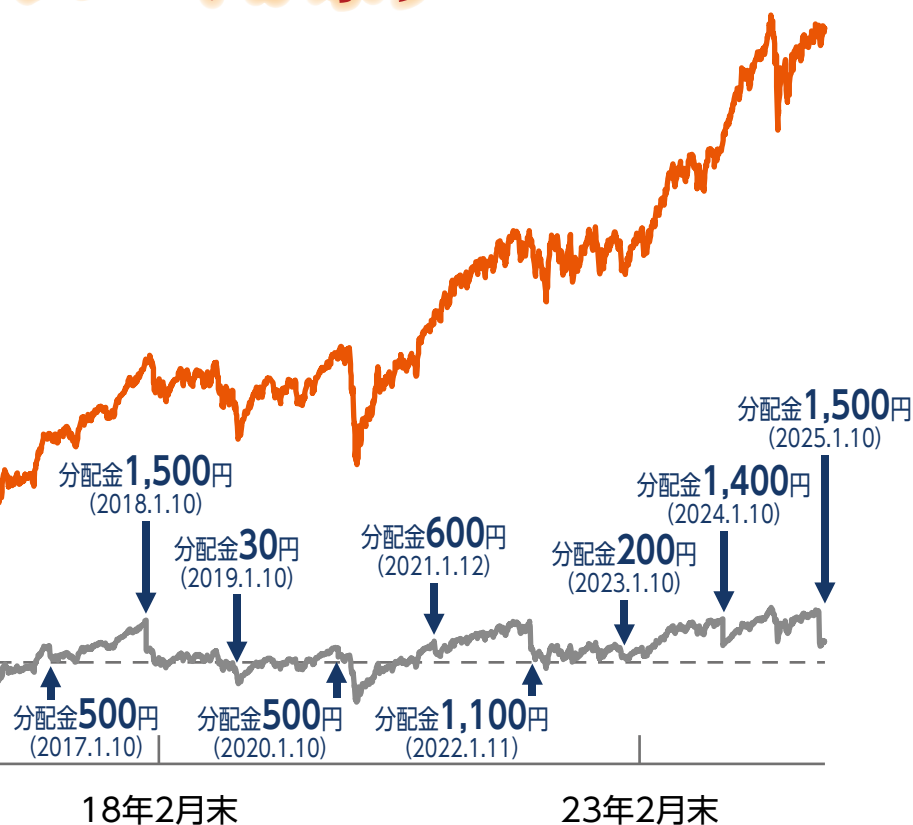
設定来では、
合計 **15,080円** の
分配実績。
足元の基準価額*は、
11,208円

*税引前分配金控除後
(2025年1月31日現在)



束するものではありません。 ※リターンは月次リターンの平均値を年率換算、
リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算

レコードが示す



● 基準価額(税引前分配金再投資ベース)とは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
行なわないこともあります。

将来の運用成果等を約束するものではありません。
【留意事項】を必ずご覧ください。】

株式に7割超を配分。そして、3割超は “クッション役”の債券は、リスク・リターン

●当ファンドの推奨ポートフォリオ
(2025年1月14日現在)

株式部分は、

日本大型株式〈25.2%〉

世界最大級の総合金融サービスグループの
資産運用会社

J.P.Morgan
ASSET MANAGEMENT

JPモルガン・アセット・マネジメント

日本小型株式〈8.8%〉

徹底した企業訪問調査に
基づく投資を行なう運用会社



スパークス・アセット・マネジメント

日本株式は、
あえて**大型**と**小型**に分け、
それぞれに強みを持つ
運用アドバイザーが運用を担当。



日本
株式
34.0%

債券
28.5%

債券部分は
いわばクッ

日本債券〈18.0%〉

国内唯一の専門信託銀行グループである
「三井住友トラスト・グループ」
の中核を成す資産運用会社



SUMITOMO MITSUI
TRUST ASSET MANAGEMENT

三井住友トラスト・アセットマネジメント

※当ファンドでは、中期投資の観点から構築される運用のモデルとなる資産配分を「推奨ポートフォリオ」
※記載の運用アドバイザー（投資顧問会社）は資料作成時現在のものであり、将来変更する場合があります。

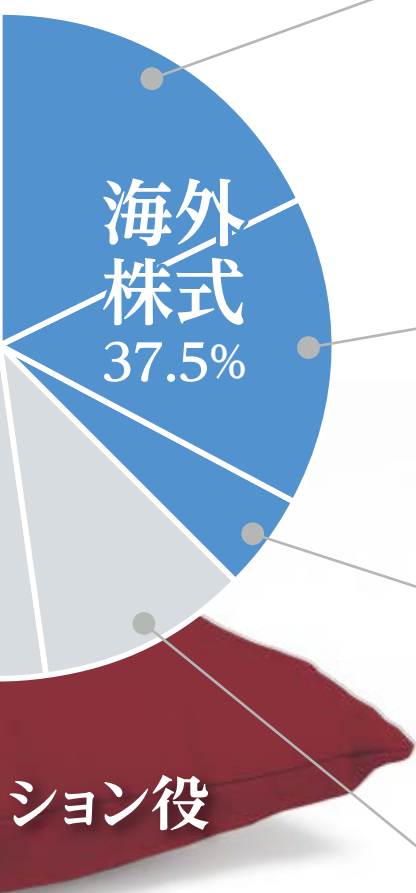
※上記のグラフおよびデータは過去のものであり、
【本資料の「お申込みに際しての

日本株式に配分。 効率の向上のために。

7つの資産は、それぞれの
スペシャリストが運用を担当。
いわば“世界選抜チーム”
ですね。



いわば“エンジン役”



北米株式〈17.9%〉

綿密なファンダメンタルズ分析に
基づく銘柄選択に
重点を置く株式運用

Janus Henderson
INVESTORS

ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・
US・エルエルシー

欧州先進国株式〈15.0%〉

米国最古の運用会社である
MFSグループの英国法人



MFSインターナショナル(U.K.)

アジア太平洋先進国株式〈4.6%〉

英国を本拠とするグローバル
資産運用グループの
アジア拠点

Schroders

シュローダー・インベストメント・
マネージメント(シンガポール)

海外債券〈10.5%〉

機関投資家向け運用サービスに
特化した独立系運用会社

WELLINGTON
MANAGEMENT®

ウエルントン・マネージメント・カンパニー

オ」と呼びます。

将来の運用成果等を約束するものではありません。
【留意事項】を必ずご覧ください。】

“世界選抜チーム”が誇る、 “各メンバー”の運用実績

●各資産の投資対象であるマザーファンドの運用実績
(資料作成時現在の運用アドバイザーによる各運用期間)

— マザーファンド
— ベンチマーク・インデックス

日本大型株式 グローバル・ラップマザーファンド〈JPモルガン・アセット・マネジメント〉

(2004年12月27日(交代の前営業日)～2025年1月31日)

J.P.Morgan
ASSET MANAGEMENT



日本小型株式 グローバル・ラップマザーファンド〈スパークス・アセット・マネジメント〉

(2003年2月27日(「GW7つの卵」の設定日前営業日)～2025年1月31日)



日本債券 グローバル・ラップマザーファンド〈三井住友トラスト・アセット・マネジメント〉

(2005年12月8日(交代の前営業日)～2025年1月31日)



【5～6ページ掲載のグラフについて】

●各グラフは、起点を100として指数化しています。●各マザーファンド名の後にある〈〉内の運用会社は、各マザーファンドの実質的な運用を行なう資料作成時現在の運用アドバイザー(投資顧問会社)です。運用アドバイザーの入替があったマザーファンドについては、前運用アドバイザーから運用を交代した日の前営業日をグラフの起点としています。●使用したデータは、各マザーファンドの基準価額とそのベンチマーク・インデックスです。●各マザーファンドのベンチマーク・インデックスは、後述の「各マザーファンドとベンチマーク・インデックスについて」をご参照ください。ただし、2016年12月以前の日本大型株式、日本小型株式および日本債券については、当時のベンチマークである以下指数を使用しています。日本大型株式: 日興株式スタイルインデックス(日本大型株式)、日本小型株式: 日興株式スタイルインデックス(日本小型株式)、日本債券: 日興債券パフォーマンスインデックス(総合)

(出所) SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング

※上記のグラフおよびデータは過去のものであり、
【本資料の「お申込みに際しての

各運用アドバイザーは、
いずれもアルファ(超過収益)を
中長期的に生み出しています。



北米株式 グローバル・ラップマザーファンド〈ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー〉

(2008年11月17日(交代の前営業日)～2025年1月31日)

Janus Henderson
INVESTORS



欧州先進国株式 グローバル・ラップマザーファンド〈MFSインターナショナル(U.K.)〉

(2008年11月17日(交代の前営業日)～2025年1月31日)

MFS



アジア太平洋先進国株式 グローバル・ラップマザーファンド〈シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)〉

(2003年2月27日(「GW7つの卵」の設定日前営業日)～2025年1月31日)

Schroders



海外債券 グローバル・ラップマザーファンド〈ウェリントン・マネージメント・カンパニー〉

(2010年5月17日(交代の前営業日)～2025年1月31日)

WELLINGTON
MANAGEMENT®



大切に卵を温めるチームの監督

SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング
(SGIC)

SGICが効率的な資産配分*を構築します。状況に応じて資産配分は見直しが実施されます。

*[効率的な資産配分]とは、期待されるリターンが同じ水準にある場合、リターンのブレが最も小さくなると判断される配分を指します。

●SGICによるポートフォリオの構築

SGIC

長期投資の観点から
基本ポートフォリオ
を構築

長期ファンダメンタルに基づく、期待リターン／リスクや相関係数による平均分散アプローチなどを用いて、「基本ポートフォリオ」を決定。

その上で、計量モデルを用いて、中期的な市況動向を捉えるポートフォリオに最適化(「推奨ポートフォリオ」)。

中期投資の観点から
推奨ポートフォリオ
を構築

2017年10月からはAIによる
ビッグデータ分析を導入。

1時間当たり約12万もの記事(ダウジョーンズ誌やウォールストリートジャーナル誌など)を解析したデータを活用して、より高い精度を追求。

Big Data

SGICから
日興アセットマネジメントへ
助言

(出所: SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング)



nikko am

Nikko Asset Management

SGICの推奨ポートフォリオをもとに、ファンドとしての資産配分に調整し、運用を行ないます。

実際のファンドの資産配分は、現金などの保有や時価変動などにより、推奨ポートフォリオの比率と乖離します。ファンドの資産配分比率は、後述およびマンスリーレポートなどをご覧ください。





SGIC: SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社

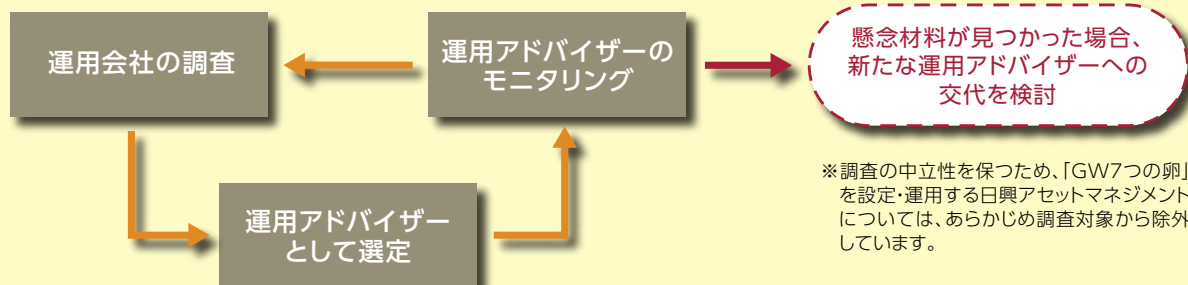
SGICは、運用会社および販売会社間の中立的な視点に基づいて、資産運用サービスを提供するコンサルティング・カンパニーです。

運用会社の評価・選定、資産配分の策定、運用手法の研究・開発、コンサルティングの4つの主要事業を通じて、革新的かつ高品質のソリューション提供をめざします。**アセットアロケーションチームがファンドのポートフォリオの構築を、各資産クラス担当のファンドアナリストが運用アドバイザーの評価・選定を行います。**

●SGICによる運用アドバイザー(投資顧問会社)の評価・選定

SGICが運用アドバイザーの運用状況をモニタリングし、必要な場合には運用アドバイザー交代助言を行ないます。

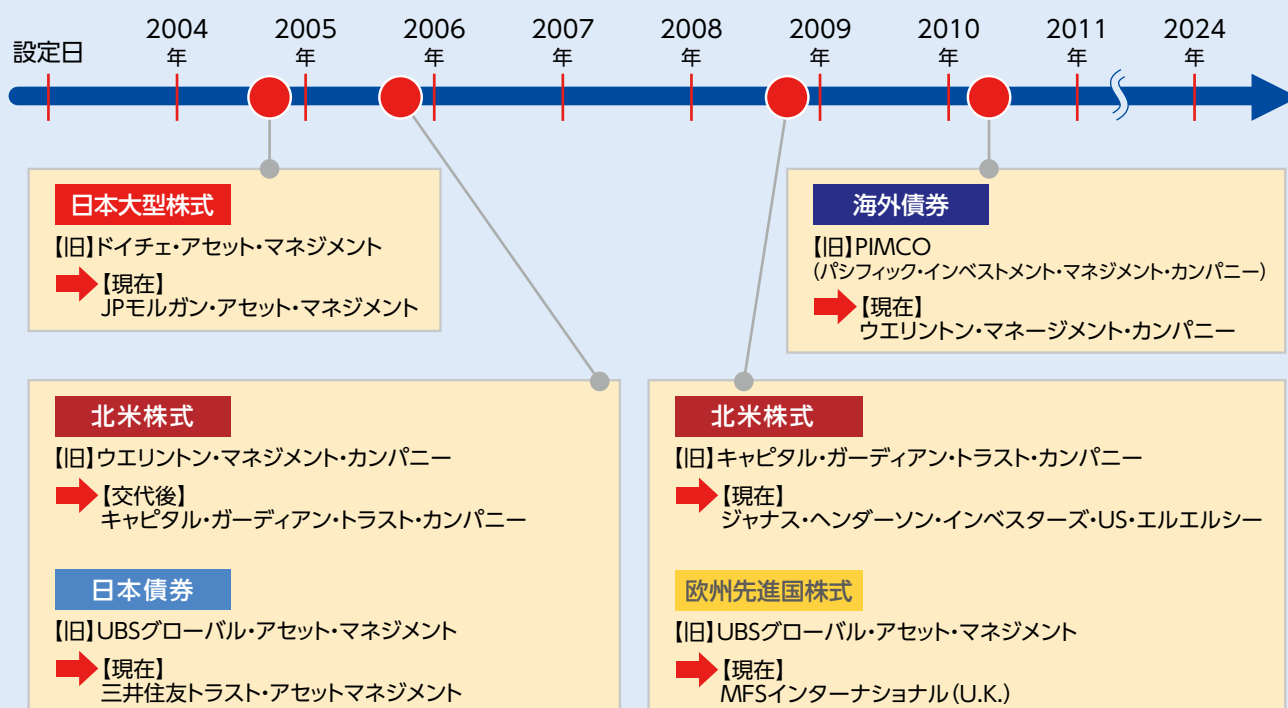
〔運用アドバイザーの評価・選定プロセス〕



●最終的な運用アドバイザーの決定は、SGICに加えて日興アセットマネジメント アメリカズ・インク*からの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。●上図は、運用アドバイザーの評価・選定のプロセスを簡便的に示したものです。

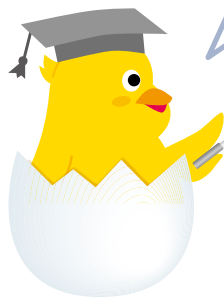
*2025年9月1日、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクは「アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク」に社名変更します。

〔運用アドバイザーの交代履歴(資料作成時現在)〕



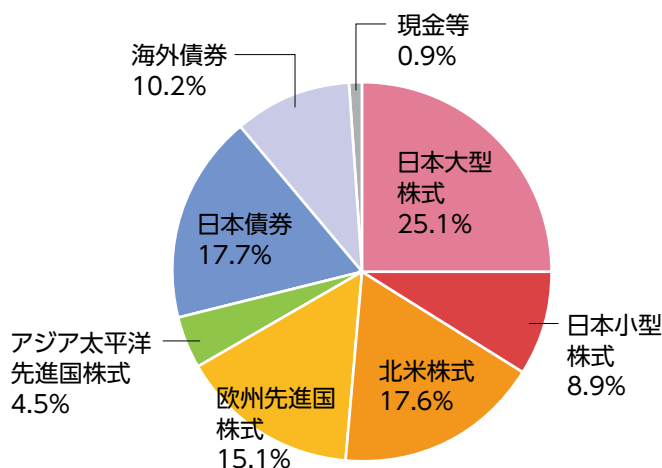
ポートフォリオの概要と パフォーマンスの要因分解

「GW7つの卵」の過去1年間の
基準価額*騰落率(プラス12.31%)について、
どの資産がどれだけ影響したかを
ご確認ください。



*税引前分配金再投資ベース

●資産構成(2025年1月31日現在)

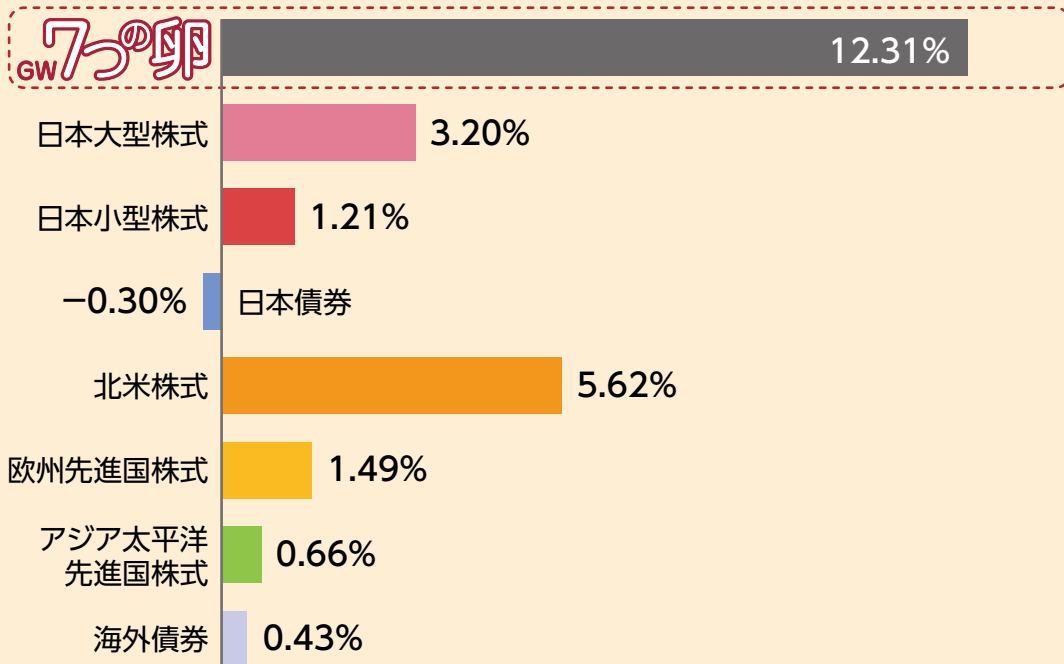


●資産別要因分解〈過去1年間〉

(2024年1月末～2025年1月末)

日本債券がマイナスとなったものの、その他のマザーファンドがプラスとなったことで、
基準価額*は上昇しました。

*税引前分配金再投資ベース

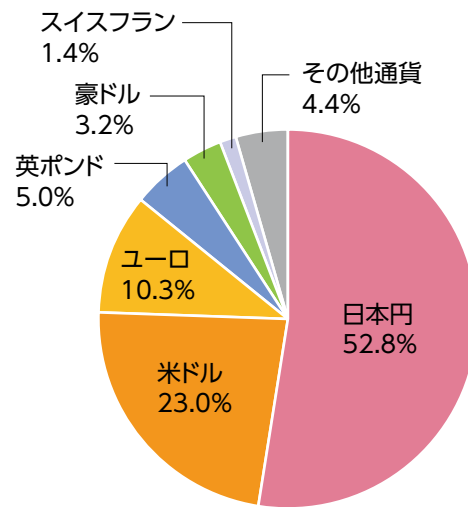


(出所: SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング)

※ファンドの基準価額の推移および分配金実績については、1～2ページをご参照ください。

※上記のグラフおよびデータは過去のものであり、
【本資料の「お申込みに際しての

●通貨構成比率(2025年1月31日現在)

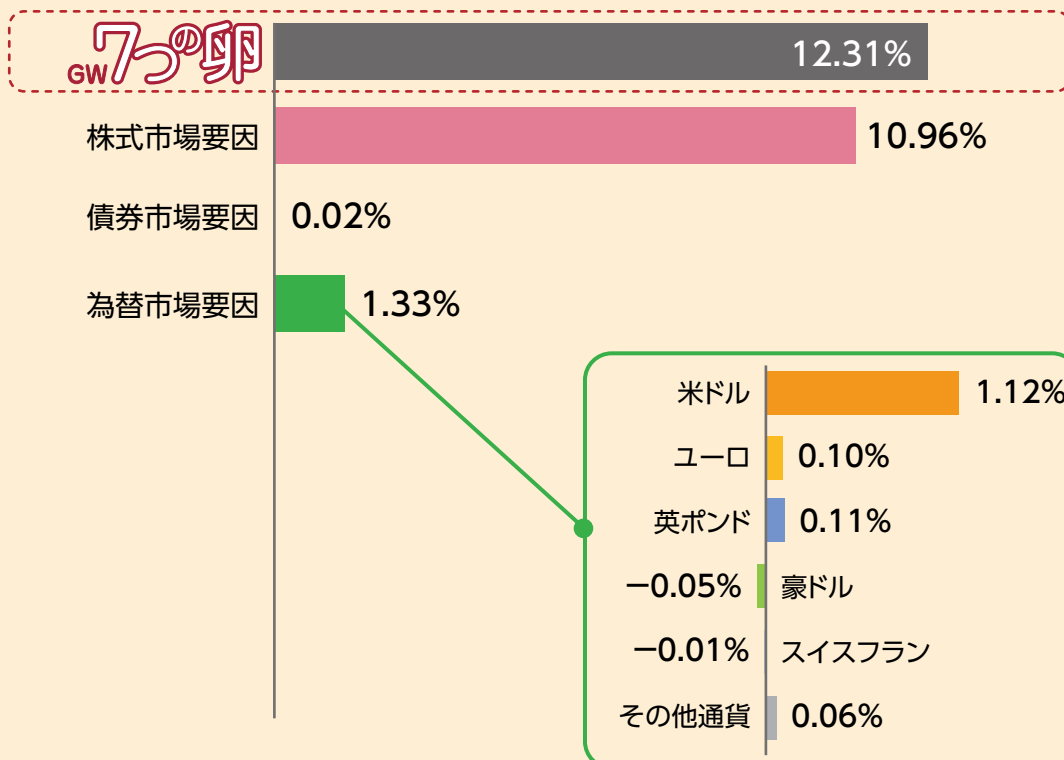


●市場別・通貨別の要因分解〈過去1年間〉

(2024年1月末～2025年1月末)

株式、為替、債券のすべてがプラスに寄与したことから、基準価額*は上昇しました。

*税引前分配金再投資ベース

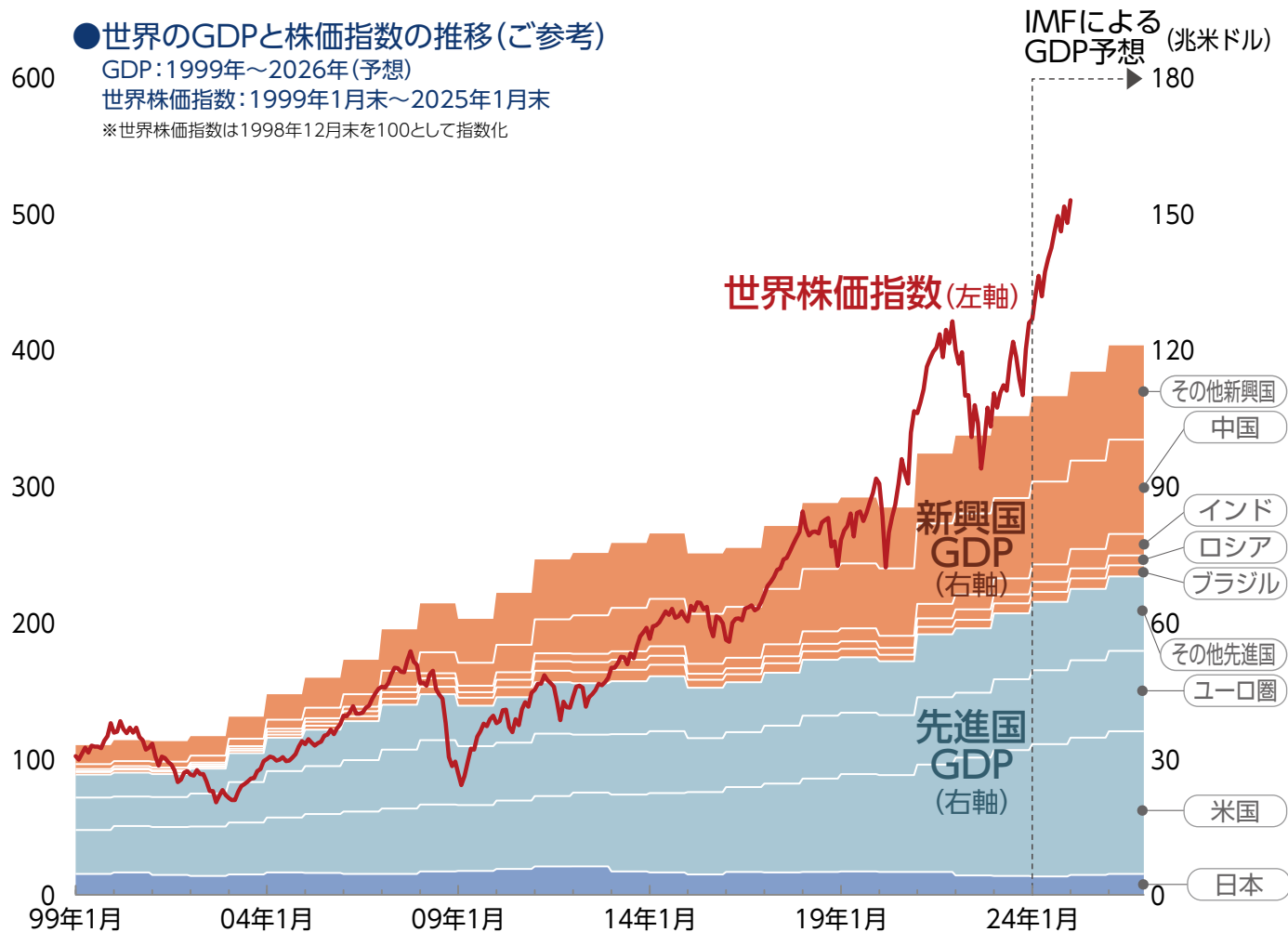


(出所: SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング)

【9～10ページ掲載のグラフについて】

●要因分解は、当ファンドの過去1年間の税引前分配金再投資ベースでの騰落率と各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。●税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。●各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

経済成長と共に、株価は上昇。 “前向きバランス”で 今後のリターンをキャッチしたい。



長期で見た場合、株価は上下の変動を繰り返しながらも、
経済発展とともに上昇してきました。
分散投資でリスクを低減しつつも、株式のリターンを見逃さない、
“前向きバランス”
を資産形成に活用してはいかがでしょうか？

●IMF[World Economic Outlook Database, October 2024]および信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
●GDPの2024年以降についてはIMFの予想です。
●世界株価指数は、MSCI ACワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)を用いていますが、ファンドのベンチマークでも参考指数でもありません。

※上記は、一般的な投資に関する考え方の一例であり、ファンドの運用と直接的に関係するものではありません。
※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ファンドの特色

1

**世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行ないます。
そして、効率的な資産配分を考えます。**

◆世界各国の株式・債券から7つの資産を選び、国際分散投資を行なうことで
中長期的な信託財産の成長をめざします。

2

7つの資産は、それぞれの分野に強みをもつスペシャリストが運用します。

◆7つの資産の運用は、それぞれの分野に強みを持つ運用アドバイザーが
各マザーファンドを通じて行ないます。

3

**資産配分および運用アドバイザーの決定は、SMBCグローバル・インベストメント&
コンサルティング (SGIC) の助言をもとに日興アセットマネジメントが行ない
ます*。**

◆SGICが、中期的な市況見通しに応じて資産配分の助言を行ないます。
また、各マザーファンドの運用状況を日々モニタリングし、必要な場合には運用アドバイ
ザー交代の助言を行ないます*。

*最終的な運用アドバイザーの決定は、SGICに加えて日興アセットマネジメント アメリカズ・
インクからの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。なお、2025年
9月1日、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクは「アモーヴァ・アセットマネジメント・
アメリカズインク」に社名変更します。

——— 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。 ———

各マザーファンドとベンチマーク・インデックス

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	ラッセル野村大型インデックス (配当込み)
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	ラッセル野村小型インデックス (配当込み)
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	MSCI北米インデックス (税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース*)
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	MSCI欧州インデックス (税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース*)
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド ...	MSCI太平洋フリー・インデックス (除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース*)
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	NOMURA-BPI総合
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース*)

*ヘッジなし・円ベースとは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

※ラッセル野村大型インデックスおよびラッセル野村小型インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&
コンサルティング株式会社 (以下「NFRC」) およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、NFRCおよびFrank Russell Companyは、対象
インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興
アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※NOMURA-BPI総合は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (以下「NFRC」) が公表している指数で、その知的財産権はNFRCに
帰属します。なお、NFRCは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興
アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※MSCI指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変える権利および公表を
停止する権利を有しています。

※FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。当指数はFTSE Fixed Income LLCの知的
財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式および債券を実質的な投資対象としますので、株式および債券の価格の下落や、株式および債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「GW7つの卵」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認くださいの上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
購 入 単 位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購 入 価 額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信 託 期 間	無期限(2003年2月28日設定)
決 算 日	毎年1月10日(休業日の場合は翌営業日)
収 益 分 配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課 税 関 係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購 入 時 手 数 料	三井住友信託銀行における購入時手数料率は、お申込金額に応じて、以下のように変わります。 1億円未満…………… 3.3%(税抜3.00%) 1億円以上3億円未満… 1.65%(税抜1.50%) 3億円以上10億円未満 … 0.825%(税抜0.75%) 10億円以上 …………… 0.55%(税抜0.50%) ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換 金 手 数 料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運 用 管 理 費 用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.98%(税抜1.8%)
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息 などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委 託 会 社	日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)
投資顧問会社	SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク (日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド) JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 (日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド) スパークス・アセット・マネジメント株式会社 (北米株式グローバル・ラップマザーファンド) ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー (欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド) MFS インターナショナル(U.K.) リミテッド (アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド) シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール) リミテッド (日本債券グローバル・ラップマザーファンド) 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 (海外債券グローバル・ラップマザーファンド) ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
受 託 会 社	野村信託銀行株式会社
販 売 会 社	三井住友信託銀行株式会社 他

